

【特集】

松浦党の里

ほんなもん体験

# 『生きる力』を育む旅

この地は、歴史の舞台  
で活躍した水軍「松浦  
党」の発祥地。松浦党の  
里のありのままの暮ら  
しと自然の営みの中に、  
「生きる力」と「豊かな  
心」を求めて、たくさん  
の人たちがこの地を訪  
れています。

## ありのままを生かした

### 「ほんなもん体験」

本市が位置する北松浦半島地域では、地域振興の一つとして体験型観光に積極的に取り組んでいます。この地域に息づく日常のあるがままの生業をそのまま体験にし、人と人、人と自然との触れ合いを通して得られる感動体験から「生きる力」を育む旅。これが「ほんなもん体験」です。

「ほんなもん体験」では、体験者と受け入れ側が互いに心高まる「ほんなもん（＝ほんもの）」の体験にこだわります。

### 活動理念

平成14年1月の「松浦体験型旅行協議会」発足から動き出した「ほんなもん体験」。10年が経過した現在、修学旅行生を中心に、全国からたくさんの人たちがこの地域を訪れるようになりました。

体験者は家族の一員として迎えられ、豊かな自然の中で、地域に根ざ

した生業や食文化などを体験します。

特に地域住民との触れ合いを通

して感動や感謝、自信や達成感といった心の高まりを感じ、生きる力を身に付けようとしています。

「ほんなもん体験」には、このような人間形成における教育的・精神的効果が備わっています。

### ほんなもん体験 活動の理念

- ありのままの暮らしや自然の営みの中で、子どもたちをお客さまではなく、家族の一員としてお迎えます。
- 体験や民泊を通して、地域の豊かな食文化や生活文化、農水産物の価値、家族の絆や親の愛、人の愛を伝えます。
- 人との触れ合いを通してコミュニケーション能力を高め、モチベーションを高めて「力強く生きる力」を身に付けていただきたいと強く願っています。
- 安全でかつ教育効果の高い体験活動となるよう、心を込めてお手伝いさせていただきます。

### 生きる力を育む…それは豊かな心を育てること

今の時代に生きる私たちは、急激な経済成長と技術革新などによって、便利で豊かな生活を手に入れた反面、その代償として多くのものをなくし、また失おうとしています。

長い時間をかけて受け継がれてきた伝統や食文化、自然との共生の考え方、家族や地域社会といった人間関係など…そのすべてが、生きていく上で必要なものであり、大切なものです。

特に現代社会で問題視されているのが人間関係の欠如。生活が豊かになり、身の回りには暮らしを便利にするたくさんのものが増えました。それと反比例するかのようになり、人との関わる時間は減り、個人を重視するあまり、身勝手な思い込みが引き起こす事件や事故などを、新聞やテレビなどでよく目にするようになりました。

コミュニケーションに必要な能力は一般的に「家族」の中で必要な基礎を学び、成長していく課程においてその力を伸ばしていきます。しかし、近年では、核家族化や少子高齢化、晩婚化などの影響により家族構成は縮小し、食生活やライフスタイルの変化に伴い、「家族」が持つコミュニケーションの育成機能が

弱まりつつあります。この影響が、地域へ広がることによってコミュニケーションそのものが弱体化していきます。このような状況は、都市部でも多く見られるようになり、対応策の一つとして、地方の体験型観光が注目されるようになりました。

「ほんなもん体験」は、体験そのものが目的ではなく、体験を通じて交流を深めることで人間関係を構築する。言うなれば、人と人が互いに心高まることで、「豊かな心」を育てることをねらいとしています。

離村式に行くと、いくつもの感動的なシーンに出会います。別れを惜しんで抱き合う姿、寂しさを涙ぐむ人を笑顔で励ます姿、泣きたい気持ちを抑えて必死に笑顔をつくる姿、体験したことを誇らしげに話す姿など…すべては、人との交流から得た心の高まりがもたらす光景であり、豊かな感情を持ち、相手を思いやることのできる人間本来の姿がそこにはあります。

